

8/6 学生議会「吉良中学校」 フリートークで出された意見

| 整理番号 | 生徒の意見 | 【市長の考えなど】 | 担当課 |
|------|---|---|------------------|
| 1 | <p>私は陸上競技をしています。去年、西尾市の総合グラウンドでの大会は、天候に恵まれず、ほとんどの大会が中止になってしまいとても残念でした。安城市のような総合グラウンドがあると選手が活躍でき、良い記録が出せると思っています。西尾市でそのような施設を造る計画はありますか。</p> | <p>【市長】 今、スポーツ施設の再配置計画というものを検討しています。具体的に言うと、例えば陸上競技の場合だと、陸上競技に関係する団体の皆さんと相談し、市民の皆さんに計画案を示した上で、ご意見を伺いながら計画を検討しています。スポーツ競技は、陸上だけに限らず、野球やサッカー、テニスやバスケットボールなど色々な競技があるので、市内でスポーツをしている人たちが、施設を利用した際になるべく困らないような形で環境を整えないといけないと思いつながりながら検討しています。どういう順番で、どんな競技に必要な施設を造っていくかという事については検討中です。すぐに取り掛かれるスポーツ施設もあれば、十数年後になってしまうスポーツ施設もあると思いますが、現在は、既存の建物が、建設後何年経過しているのか、競技人口はどれくらいいるかなどを調査し、様々な事情を考えながら決定したいと考えているのでご理解ください。</p> | スポーツ課 |
| 2 | <p>防災アプリや市公式SNSがありますが、学生議会の下調べをして初めてその存在を知りました。特に防災アプリについては、市民が知らないと思いがありませんが、アプリの存在を市民に知ってもらうための工夫は何かしていますか。</p> <p>※市長の質問に対して… SNSについて、例えばインスタですが…インスタは写真をメインに皆さん投稿し情報発信しますが、インスタ映えするような綺麗な景色写真とかは誰でも投稿しているのでもそんなに差がありません。例えば、パッと見て「ワっ！これどこ？めっちゃくちゃ面白い！」と若い人たちが目を引くような写真を投稿しないとだめだと思います。防災アプリについては、市民全員がアプリの存在を知る必要があります。私たちが家族や友達などに教えてあげることもできます。</p> | <p>【市長】 防災アプリは使ってもらわないと意味がないと思います。多くの人に見て欲しいし、このアプリ機能はいいなと思ってもらうことが重要なので広く啓発はしています。しかし、実態は市民の皆さんに情報が届いていません。具体的な啓発活動については危機管理局長が説明します。</p> <p>【市長から質問】 中学生の皆さんにお聞きします。「こうしたら、もっと市の情報を知ることができるの」「西尾の魅力を伝えるにはどうしたら良いか」など皆さんから提案して欲しいと思っておりますがどうでしょうか。広報にしておなど情報紙では大きく取り上げてお知らせしていますが思うように伝わりません。何か良い案があればまた教えてください。</p> <p>【危機管理局長】 防災アプリについては、8月2日現在、5,177件の方がダウンロードしていただいている状態です。各種イベントでチラシを配布したり、実際にアプリを起動させたりして体験してもらうなど啓発を行っています。西尾祇園祭の時には、防災アプリの認知度を確保するなどの項目でアンケートを行うと同時に啓発も実施しました。市民の皆さんとの対話では、アプリの存在は知っているものの、まだインストールしていない方が多いように感じました。5,200件ほどなのでPR不足だと思っています。今後も各種イベント会場でPRしたいと思っていますのでよろしくお願い致します。</p> | 危機管理課 秘書広報広聴課 |
| 3 | <p>家の近くに英語の先生が引っ越して来ました。アメリカ人です。吉良町は外国から移り住んでくる人が多いと感じています。外国の方が日本で生活しやすくするための工夫とかは何かしていますか。</p> | <p>【市長】 外国人については、西尾市全体、日本全体で外国人は増えています。西尾市は、毎年1,000人ぐらい外国人が増えています。これまでは、ポルトガル語の通訳さんがいれば、人数の多いブラジル人の対応はある程度出来ました。しかし最近ではブラジル人だけではなく、中国や韓国、フィリピンやベトナム、インドネシアなど様々な国の人が増えています。まずコミュニケーションの入口は言語なので、現在市役所でも非常に苦労している部分があります。市役所での対応については、通訳さんの力を借りて対話していますが、地域の中だと通訳できる方がいれば話もスムーズにできますが、町内会長の話などをお聞きすると現状は厳しいように思います。</p> <p>言語対応については、最新技術を使った「ポケットーク」が最近話題となっていますが、そういったアイテムを使えば、何十か国語も対応できるので効果的だと思います。外国人と日本人のトラブルで特に多いのは、地域でのゴミ問題です。ごみ出しの際、ペットボトルや空き缶、プラスチック製容器包装の分別など数多くルールがあるかと思ひます。外国人数の多い言語として代表的なものはポルトガル語や英語なので、言語訳した「ごみの分け方・出し方ガイドブック」などは担当課で作成し外国人世帯に配っています。今後益々外国人も増えていくと予測できますので、言語については、しっかりと対応していきたいと考えています。</p> | 地域つながり課 ごみ減量課 |

8/6 学生議会「吉良中学校」 フリートークで出された意見

| 整理番号 | 生徒の意見 | 【市長の考えなど】 | 担当課 |
|------|--|---|----------------|
| 4 | 最近、高齢者の自動車事故が多くなっています。西尾市で車を運転する高齢者は、家の近くにバスや電車など公共交通機関が無く、仕方なく車に乗ってる人も多いと思います。現在、吉良は名鉄電車が走っていますが、家から最寄駅までの距離が遠い場合は、車を使わざるを得ないと思います。そういう人たちのために、西尾の中心地区ではくるりんバスが、一色はいっちゃんバスがあります。くるりんバスやいっちゃんバスを吉良地区に回す計画はありますか。 | <p>【市長】</p> <p>吉良地区を回る計画はありません。高齢者の方で免許証を返納してしまった方は、くるりんバスを3年間無料で乗車することができます。今後、高齢者が増えるにしたいが、免許証を返納する方も当然増えてきます。交通弱者と言われる方が、日常生活の中で買い物に行ったり、用事を済ませたい時にどうすれば良いのかということは、本当に大きな問題です。</p> <p>吉良地区では、地域の皆さんが話し合っ、乗り合いタクシー「いこまいかー」という制度を活用しています。例えば、行き先としてスーパーや病院があります。希望する行き先に自宅から直接行けるという制度です。足が悪く歩けない人や、遠くまで歩くには少し不安がある方でも、自宅までそのタクシーが迎えに来てくれて目的地まで行けます。「いこまいかー」は、現在、地元のタクシー会社と市が契約し運行しています。そのため、協力していただけるタクシー会社が存在しないと、このサービスが成り立たなくなります。いこまいかーは、まだまだ認知度が低いので、その点が課題だと思っています。市民の皆さんからにとっては、いこまいかーの方が公共交通機関であるバスや電車より使い勝手が良いと思うので、市全体に広げたいと思っています。</p> | 地域つながり課 |
| 5 | 吉良支所前に建物が建っていると思いますが、いつから使用できるようになりますか。 | <p>【市長】</p> <p>予定としては、来年度のなるべく早い時期を考えています。外から見ると完成しているように思いますが、屋内工事が完全には終わってなく、まだ一部工事をする必要があるため、もう少し時間がかかってしまいます。外から見た感じでは、ほぼ完成しているので、なぜ使用できないのかと疑問に感じるかと思いますが、その点については、大変申し訳ないと思っています。完成後は、学生の皆さんが勉強できるようなスペースも作りますので、多くの皆さんに利用していただける施設にしたいと考えています。当初計画になかった学習スペースなどに仕様を変える段取りとかあり時間を要していますが、ご理解いただくとともに、地域の皆さんでぜひ利用して欲しいと思います。</p> <p>「令和2年2月17日 追記」</p> <p>きら市民交流センター（仮称）支所棟については、用途変更工事のため、実施設計業務を進めています。設計の後、工事を実施し、令和2年度冬の工事完了を目指しています。その後、開館準備、引越し作業を行い、早期の供用開始を目指します。</p> | 生涯学習課 資産経営課 |
| 6 | 外灯（防犯灯）が少ないと思います。外灯があれば防犯対策にもなると思います。 | <p>【市長】</p> <p>防犯灯設置の仕組みは、各町内会の会長さんから「ここに防犯灯を設置したいです。」という申請を出していただくことからスタートします。その申請を受け、市役所は設置費などに補助金を出しています。したがって、必要な個所かどうかを町内会で判断していただくこととなりますので、暗い場所がわかっている場合は、保護者の方を通じて町内会役員の方に伝えていただければと思います。決まった仕組みがあって申し訳ありませんがご理解ください。</p> | 危機管理課 |

8/6 学生議会「吉良中学校」 フリートークで出された意見

| 整理番号 | 生徒の意見 | 【市長の考えなど】 | 担当課 |
|------|---|--|---------|
| 7 | 名鉄にしがま線が廃線の危機にあると聞いています。今後どうなりますか。 | <p>【市長】</p> <p>にしがま線が無くなる可能性は、正直ゼロではありません。今は令和2年度までの存続が決まっていますが、それ以降の話は、今年度から名鉄と蒲郡市と一緒に協議していくこととなります。西尾市としては、電車がなくなってしまうことは地域自体が元気が無くなってしまいますので何としても守る覚悟でいます。ここ何年は、電車の利用者数が増えているので、名鉄から一方的に廃線の話がくることは多分ないだろうと思っています。しかし、10年、20年の約束という話になると、名鉄側も判断が難しいと思うので、今回の協議では、まずは5年間の延長をお願いしたいと考えています。その後も、名鉄利用促進に関する取り組みを行い、利用者数等の動向を見ながら、また5年間というようにお願いできればと思っています。電車は、地域のために無くてはならないものだと思います。車社会となり、利用促進も関係者の皆さんが一丸となり行ってくれていますが、急に黒字にするということは難しいので、利用者を少しずつ増やしていきながら、電車はこの地域に必要ですということをしかりと名鉄側に伝え電車を残していきたいと思っています。皆さんもぜひ名鉄電車の利用促進にご協力ください。</p> | 地域つながり課 |
| 8 | 犬を飼っています。ペットを飼っている家も多いと思いますが、その反面、野良犬の殺処分が多いと聞いたことがあります。それに対して何か取り組みと行っていますか。 | <p>【市長】</p> <p>飼い犬の件については、動物愛護の関係があり簡単に殺処分してはいけないと思いますし、この問題は、飼い主がいるので市が介入することも難しい問題です。動物保護管理センターという施設があります。主な業務は動物愛護に関する仕事や、犬の保護、捕獲などを行っています。愛知県が権限を持っていますので、野良犬で困っている場合などは市役所に連絡していただければ県に連絡します。ただ、保護、捕獲された後に、飼い主を捜したり、新しく飼ってくれる方を探したりしていると思いますが、もしかすると、飼い主が見つからない場合などは、期間を決めて処分されている可能性もあることは否定できません。動物愛護の観点から、誰もがそういった行為はいけないこととわかっているとは思いますが、</p> | 環境保全課 |